

中学2年 音楽

オペラの特徴を理解してその魅力を味わおう ～オペラ「アイーダ」から第2幕第2場～

学校教育目標

- 「人間力」の育成
- 学力、体力
 - 自他を大切にする力
 - 将来を展望する力
 - 社会に貢献する力

単元の流れ

単元のポイント

鑑賞の活動を通して、総合芸術としてのオペラについて理解し、音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わり、また登場人物の心情と音楽表現との関連を考え、その魅力を味わうことのできる力を育成する。



第1時

歌曲の仕組みについて学び、楽曲の大まかな内容や登場人物の関係性を理解し、オペラの特徴を探る。



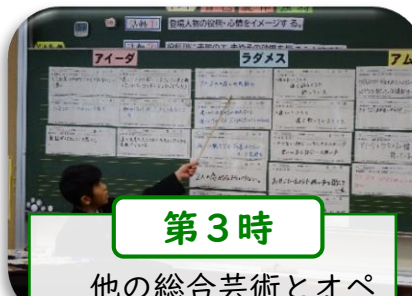
第2時

- ① 個人で登場人物（3人）の三重唱を鑑賞し、役柄や心情等をイメージする。
- ② 班別に3人の役柄から一人選び、登場人物の心情等を伝えるためにどのような工夫があるか鑑賞し、気付きを出し合い共有してオペラの魅力を捉える。



第3時

他の総合芸術とオペラを比較し、音楽との関わりについて考え、「自分だけのオペラ鑑賞法」としてまとめる活動を行う。



この題材では、学校教育目標にある「自他を大切にする力」を高めることができるように、班活動を中心に、自分の思いや他者の考えに共感する場面を取り入れる。

また、総合芸術を理解することで、それぞれの役割を担った大勢の人々の力が集結することで、素晴らしい作品が創り上げられることを学び、これからの自分たちの生活に生かし、「自他を大切にする力」を高める。

指導項目

〔B鑑賞（1）〕

ア 音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解して聴き、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わうこと。

評価について

音楽を形づくっている要素に着目して、オペラの多様な表現の良さや美しさを感じ取って鑑賞したり、感じたことを解釈したり価値を考えたりしているか観察やワークシートをもとに評価する。

目指す生徒の姿

- 自分の役割をきちんと果たすことができる
- 協力することの大切さを実感し行動することができる